製鐵所の大盟休續報

勞友會副會長西田健太郎逮捕

部で五十一名となる

怠業狀態依然繼續

氏その牛耳をとりつゝありてその會員四千五百人と稱せられ數に於て最も優勢と稱せられつゝあるに今日必ずしもあれば其幹部に對しては製鐵所側に於ても特別の優遇を與へて勞資間を融和協調に當たらしめつゝありたるものゆゑ其實際は左にあらざるべきも一般より見ては軟派と思はれ從つて同會に屬するものは穩和派なりとの評

▲友愛會の決議

六日中央區支部總會を開き

擧者解放を嘆願す

八幡友愛會は六日夜中央區支部に總會を開き主任木村鉦吉氏議長席に着き議事に移り第一決議案として

決議案

吾等は勞働實施調停の立場より時局紛糾を憂ふるものにして平和なる解決を希ふ上に於て搬來者を解放なさば人心緩和し勞働爭議解決に對し其の効や大ならんと思惟す依つて總會の決議に基づき警察部長殿に解放を歎願す

を可決し委員に木村鉦吉、柳田直一、鈴木善五郎、藤田俊次郎、藤田文六の諸氏右の決議文を齎して警察部長を訪問することなどの言も聞かれたり

第二決議案

今日の製鐵所の勞働爭議は國家的産業上憂ふべきことゝ思惟す依つて吾等は誠意を以て爭議調停に委員を選任し此任に當らしむ

として同樣委員を派遣したるが此總會席上にては種々激越なる論議も出で「吾々は十時間勞働さへ長きに失するを以て實際は八時間を適當させるに此十時間案さへも當局は遠巡して決せざるに於ては吾等勞働者とし乎たる決心なかるべからず」と

別に

第一決議案

國家を

軍人的

▲大罷業の前日

中川次長に面談した

下關要塞司令官代理 鈴木少將談

下關要塞司令官代理鈴木少將は八幡若松方面の要塞地帶視察のため三日より出張この序を以て四日八幡製鐵所を視察せるが歸來往訪の記者に語りて曰く

予が四日製鐵所に到り所内を見學したる時には何等不穩の狀態なかりしも歸來職業罷業事件の報に接して驚愕を禁ぜざりし予が中川次官に面語しその見學の便を與へられたるに對し一言謝意を表して別れたる時職工の

代表者

十數名次官と會見中なりしが後に至てその時彼等は例の要求問題を提出し會見中なりしならんと想到せる予は勝利面なりし

國家を

軍人的